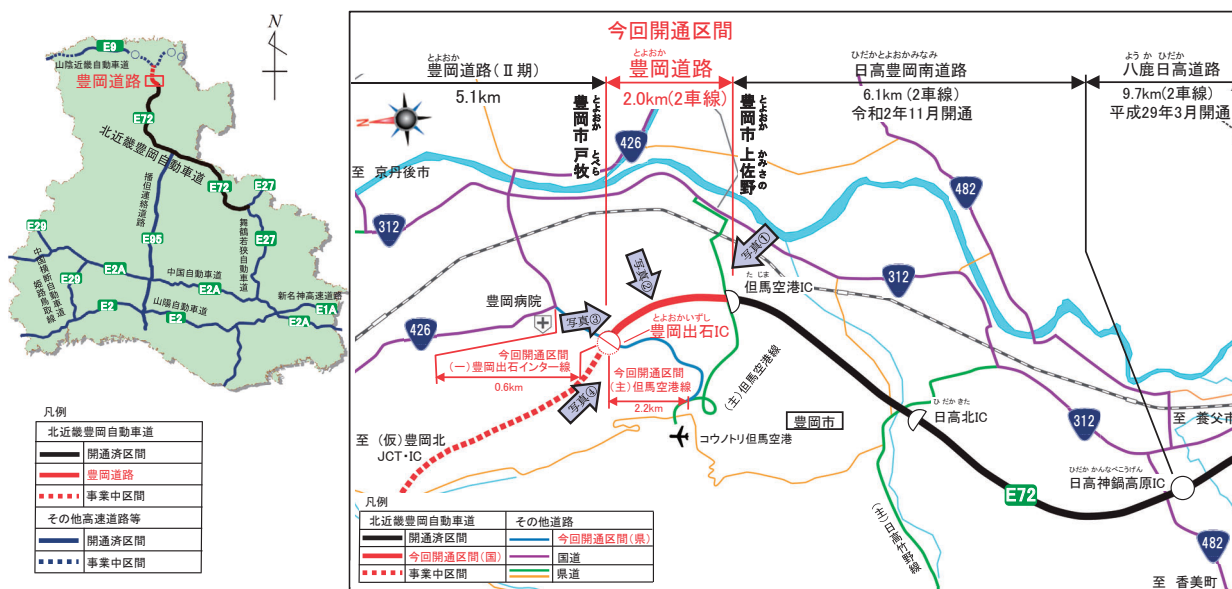


国道483号北近畿豊岡自動車道豊岡道路が 令和6年9月23日(月・休)に開通しました ～ 地域の安全・安心と活性化に寄与～

国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所

1. はじめに

国道483号北近畿豊岡自動車道(延長約73km)は、兵庫県北部の但馬地域と丹波地域の連携を支援するとともに、舞鶴若狭自動車道等を介して、京阪神都市圏と直結することで、地域の活性化を支援する自動車専用道路です。豊岡道路は、災害時の交通確保、第3次救急医療機関へのアクセス向上および観光振興への支援等を目的としています。令和6年9月23日に、豊岡市戸牧から同市上佐野の延長2.0kmの豊岡道路が開通しましたので、紹介します。



図①：豊岡道路位置図



写真①：上佐野高架橋(令和6年9月)



写真②：佐野トンネル周辺(令和6年9月)



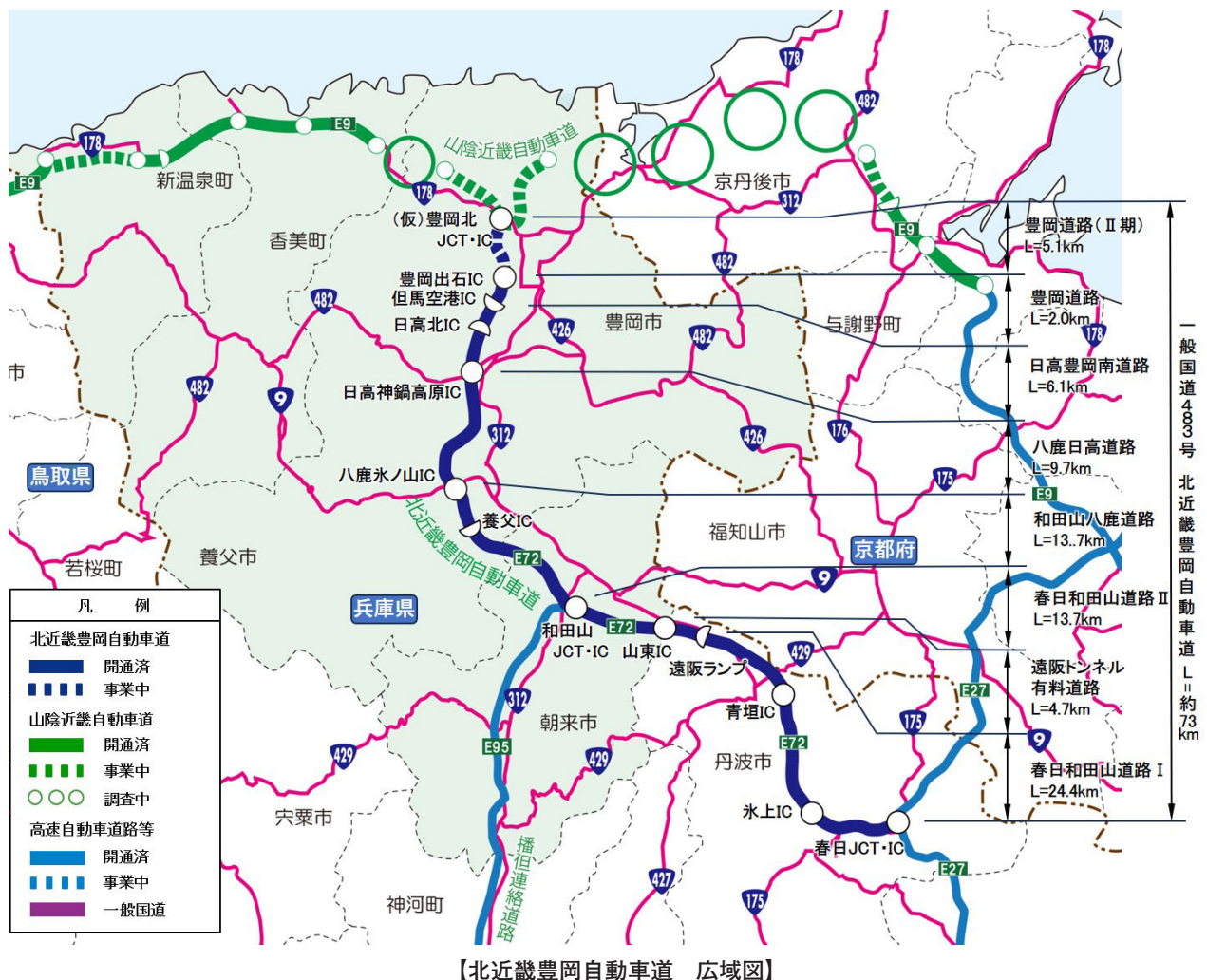
写真③：戸牧トンネル南側（令和6年9月）



写真④：豊岡出石IC（令和6年9月）

2. 事業概要

北近畿豊岡自動車道は、事業ごとに整備を進めており、平成17年4月17日および平成18年7月22日に春日和田山道路、平成24年11月24日に和田山八鹿道路、平成29年3月25日に八鹿日高道路、令和2年11月1日に日高豊岡南道路が暫定2車線で開通しました。そして令和6年9月23日には豊岡道路が暫定2車線で開通し、残すところ事業区間は、豊岡道路Ⅱ期5.1km区間のみとなっています。



3. 工事の概要について

豊岡道路は、土工部約 0.9km（約 45%）、橋梁部約 0.3km（約 15%）、トンネル部約 0.8km（約 40%）で構成され、平成 30 年度に工事着手しました。豊岡市街地の玄関口となる佐野トンネルは延長 189m で、令和 4 年 12 月に掘削着手し、令和 5 年 7 月に貫通、令和 6 年 8 月に完成しました。

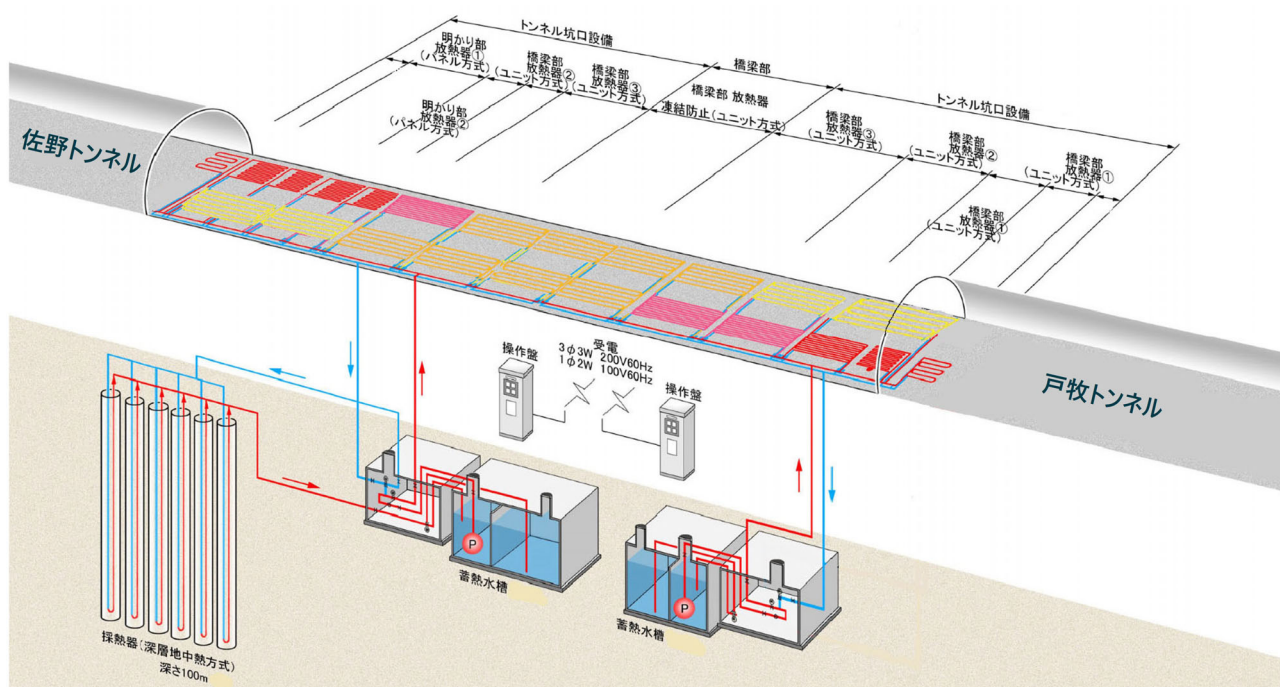
加えて、北近畿豊岡自動車道の特徴の一つとして、無散水融雪設備があります。無散水融雪設備とは、地下100mの地中熱で温められた水を舗装の下に敷設した管路に送水・循環させることで、舗装面の温度を高め、凍結防止や融雪を行うシステムです。また、自然熱源である地中熱を利用しており、低コストで環境に優しい設備となっています。路面状況が急激に変化するトンネルの坑口部や積雪・凍結のしやすい橋梁部など、危険性のある箇所に設置しており、冬期の積雪時において、安全で走りやすい道路交通を確保しています。



写真①：佐野トンネル貫通（令和５年７月）



写真②：完成した佐野トンネル（令和6年8月）



図①：無散水融雪設備システム イメージ図

4. 開通記念イベントや開通式典等の開催

豊岡道路の開通に先立ち、佐野トンネルの完成除幕式、開通前の道路を歩く開通記念イベント、開通式典など様々なイベントを開催しました。

令和6年9月5日には、地元小学生らを招待し、豊岡道路の佐野トンネルの完成除幕式を執り行いました。佐野トンネルは豊岡市街地の玄関口となることから、壁面には地域のシンボルであるコウノトリのレリーフを施しており、完成を記念してくす玉を割ってお祝いしました。



写真①：コウノトリのレリーフの除幕の様子



写真②：くす玉開披の様子

令和6年9月16日には、豊岡市実行委員会が主催となり、豊岡道路の開通を祝うイベントが開催されました。イベントでは、開通前の豊岡道路をウォーキング、観光PRや飲食用のブースの設営などがあり、地元市民ら約2,000人が参加し、車窓からの眺めとはひと味違う景色を楽しんでいただきました。また、事業紹介のパネルや災害対策用機械、照明車などの展示も行い、事業への関心を持っていただきました。



写真③：ウォーキングの様子



写真④：災害対策用機械や照明車等の展示



写真⑤：飲食用ブース



写真⑥：事業紹介パネル

そして、令和6年9月23日には、豊岡出石IC付近の戸牧トンネル内にて、地元関係者ら約200名を招待し、テープカットやくす玉開披を執り行いました。さらに、豊岡こうのとり太鼓の皆さまよりオープニング演奏を行っていただき、豊岡道路の開通を祝いました。開通式典後、通り初めを行い、同日16時00分に一般開放しました。



写真⑦：テープカット、くす玉開披

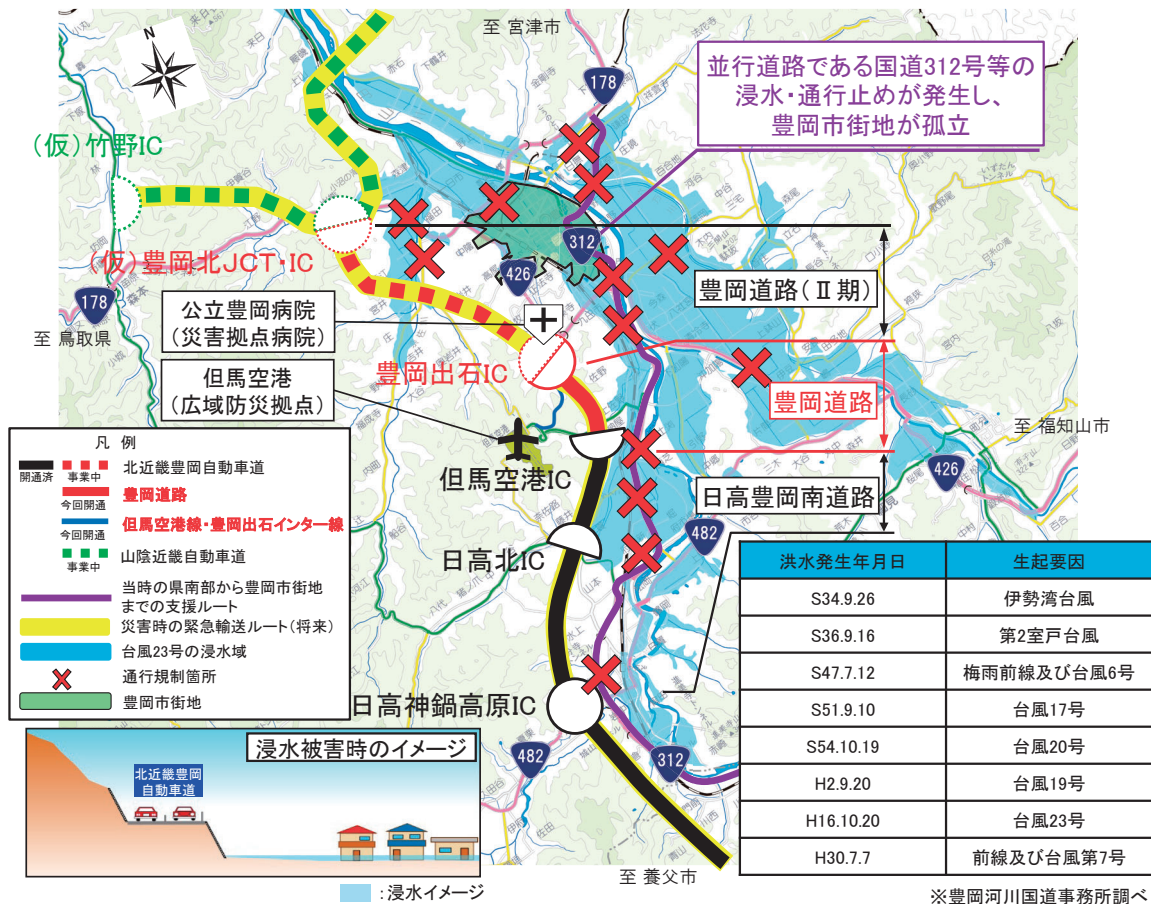


写真⑧：通り初めの様子

5. 豊岡道路開通による整備効果

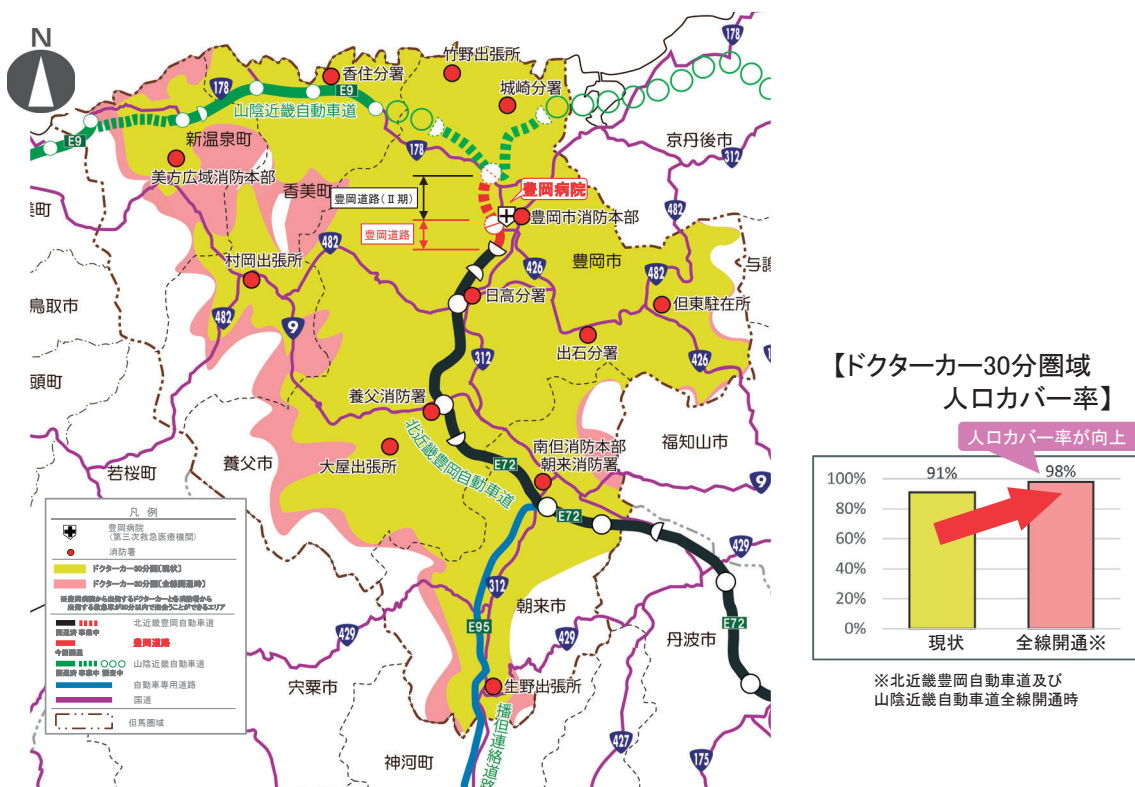
豊岡道路の開通により、災害時の交通確保、第3次救急医療機関へのアクセス向上および観光振興への支援が期待されます。

平成16年10月の台風23号をはじめ、但馬地域を流れる円山川は大きな氾濫が過去50年で8回起き、市民生活に多大な影響を与えています。豊岡道路は、標高の高い位置を通過するため、水害の影響は受けにくく、豊岡病院や但馬空港等へのアクセスが確保でき、災害時にも幹線道路としての機能を発揮できます。



図①：平成 16 年台風 23 号での通行止めの状況

緊急医療においては、搬送時間が重要です。但馬地域唯一の第3次救急医療機関である豊岡病院では、ドクターカーを派遣し、救急車と連携した独自の救急医療体制を構築しています。北近畿豊岡自動車道等の整備により、30分圏域の人口カバー率が拡大し、救急搬送時の時間短縮が期待されます。



図②：但馬地域のドクターカー 30 分圏域の拡大

但馬地域には多くの観光資源が存在しており、国内外から多くの観光客が訪れています。但馬地域の玄関口である北近畿豊岡自動車道の整備により、但馬地域内の観光の活性化が期待されます。



図③：但馬地域の主要な観光入込客数

6. おわりに

豊岡道路は、工事に着手した平成 30 年度から 6 年で開通を迎え、ご協力いただいた全ての皆さまに改めて御礼申し上げます。最後の事業区間である豊岡道路Ⅱ期 5.1km については、早期開通に向け、用地買収、調査設計等を推進して参ります。